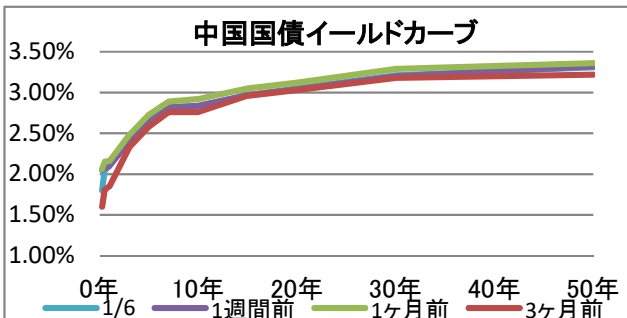
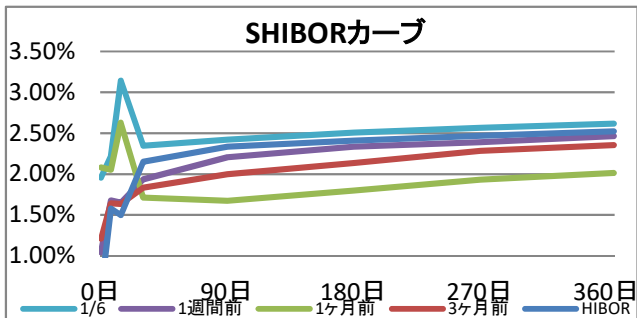


基準レート		2023/1/6	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8912	-0.0734
	JPY/CNY	5.1665	-0.0693
SHIBOR	3M	2.3350%	-0.0870%
国債利回り	10年	2.83%	-0.01%
上海総合指数		3,157.64	+68.38



(1) 概況

国際金融市場では、米FRBのFOMC議事要旨においてインフレ圧力の長期化と市場における過度の景気鈍化期待に対する警戒感が示される中で一部経済指標の悪化が確認され、欧州ではインフレ上昇圧力低下への期待が高まり、注目された週末の米国雇用統計では雇用者数の増加や失業率は改善したものの平均賃金の伸びが鈍化していたことから、債券利回りの低下が加速し、株式市場もハイテク株は下落したものの中国経済回復期待も手強い反発している。外為市場の反応は限定的で小幅なドル高となっている。

中国金融市場では、感染拡大による先行き不透明感が強いものの、ゼロコロナ措置の大幅緩和に伴う業績回復期待や、政策当局による景気支援姿勢に加え、プラットフォーム企業に対する規制緩和報道が材料視され、株価は年初以降上昇を続け、為替も海外からの資金流入等もあって元高方向で推移。なお、債券利回りは小幅な動きに止まった。

中国では、李総理が國務院常務会議で、春節休暇前の物品・エネルギー供給の安定確保と物価安定を指示し、郭樹清人民銀行党委書記が、「経済回復に向けて金融政策は民間企業支援への傾斜を強める、プラットフォーム企業金融事業の特別改革を概ね終了し、同企業の健全な発展を促進する等」の方針を示し、中国人民銀行は、本年の主要任務として、的を絞った穏健な金融政策等による需給両面に対するサポート度強化や金融リスクの防止等の指針を公表し、不動産支援策として住宅ローン金利を新築住宅価格に連動させる住宅ローン金利政策調整制度を確立。また、市場参加者の利便性を高めるため、中国人民銀行は、インターバンク外為市場の取引終了時間(翌日午前3時まで)の延長を決定し、証監会は、先物市場のポジション管理に関する暫定規定と株式オプション取引管理法のパブコメを公表。この間、中国金融当局が、アント・フィナンシャルグループ消費者金融部門の増資を承認したとの報道があり、その後の郭人民銀行党委書記の上記発言と共に、プラットフォーム企業に対する規制緩和の点で注目された。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日1兆6580億元に対して、リバースオペ570億元を実施し、ネットで1兆6010億元を吸収。

(3) 主な経済指標

財新PMI (12月) は、製造業が49.0 (11月、49.4) 、サービス業が48.0 (同、46.7) 、総合指数が48.3 (同、47.0) と、いずれも分岐点の50を下回った。製造業はコロナ感染者の急増による生産等への影響から前月比低下したが、サービス業は、厳格な防疫措置の緩和から前月対比では若干の改善となった。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	0.5390%	0.5890%	0.7200%	
1W	1.5800%	1.6000%	1.4000%	
2W	1.4960%	2.2000%	1.5000%	1.4500%
1M	2.1500%	1.9000%	8.0000%	2.2500%
3M	2.3350%	2.4500%	5.5000%	2.3500%
6M	2.4110%	2.3800%	2.2300%	2.4500%
9M	2.4680%	3.1500%		2.4900%
12M	2.5230%	3.8000%	2.7000%	2.5100%

中国人民銀行は昨年末に大量供給していた年末越え資金の吸収をしっかりと進めているものの、余剰の状態が続いており、足元の金利水準は低位で安定している。ただし、市場が意識している春節越えの期間ではやや需給が引き締まりつつあり、ターム物は1ヶ月の2.20%台での出合いを除き限定的。

NCDも、年末要因が剥落して足元需給の緩みから年初に大幅に低下していた水準から、春節越えとなるターム物の金利水準を探る展開となってじりじりと上昇。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.20%台、3ヶ月が2.35%前後、6ヶ月が2.45%前後、1年が2.5%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	4.30%	4.31%
1W	4.35%	4.40%
1M	4.60%	4.70%
3M	5.30%	5.35%
6M	5.40%	5.45%
12M	5.60%	5.70%

年初に公表されたFOMC議事要旨から金融引き締め長期化懸念が高まったものの一部経済指標の悪化が確認され、週末には雇用統計を控えて動き難い状況となっており、金利水準に大きな変化は見られなかった。ターム物の出合いは、1ヶ月の4.6%台での取引を除き限定的となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.80%		2.29%	2.37%	2.87%
6M	2.05%		2.49%	2.47%	2.98%
1Y	2.10%	2.16%	2.56%	2.62%	3.19%
3Y	2.44%	2.58%	2.78%	3.09%	3.83%
5Y	2.65%	2.79%	3.03%	3.46%	4.24%
10Y	2.83%	3.03%	3.41%	3.65%	4.44%

債券市場では、中国人民銀行の安定的な金融政策運営方針の下での景気回復期待の高まりという難しい状況となったことから、利回りは年末要因の剥落による短期と信用債を中心に低下した程度に止まり、株式市場や外為市場に比して動きは緩慢な印象。米国債利回りは、中国市場終了後に発表された雇用統計を受けて大幅に低下しており、10年米国債利回り（3.56%、前週末比-31BP）の10年中国国債利回り（2.83%、同-1bp）の上回り幅は+73bp（同-30BP）に大幅に縮小している。

イールドカーブは、年末要因の剥落により、短期債と信用債を中心に一段と低下したことから、中期ゾーンにかけて更にスティーピングしている。利率債と信用債の利回り格差であるクレジットスプレッドは、利率債利回りがやや下げ渋ったこともあり、短期中心に縮小が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-152.2 / -151.5
3M	-496.5 / -491.0
6M	-1027.0 / -1016.0
9M	-1530.0 / -1508.0
12M	-1966.0 / -1962.0

対ドル基準レートは6.8912と前週末比-734pipsのドル安元高、対円基準レートは5.1665と同-693pipsの円安元高と、中国経済回復期待を背景とする市場での元高を映じた設定が続いた。国内市場では、ゼロコロナ政策の修正に加え、不動産やIT関連の規制緩和による中国経済の回復に対する期待が高まり、市場開放への期待や春節前の国外からの資金還流等の人民元サイドの要因による元高トレンドが形成されつつあり、米雇用統計の発表を控え6.85台で週末を迎えている。

先物は、元高となったことや国外投資家の投資資金流入に加え、人民元金利水準の上昇等から小幅ながらマイナス幅を縮小している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.99%		1.60%
6M	2.04%	2.35%	1.65%
9M	2.10%	2.39%	1.76%
1Y	2.17%	2.45%	1.92%
3Y	2.55%	2.83%	2.05%
5Y	2.77%	3.14%	
7Y	2.90%	3.32%	
10Y	3.05%	3.48%	

スワップ金利は、債券利回りが短期を中心に低下したことを映じて1年以内の短期が低下し、中長期は概ね前週末の水準のままとなった。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、概ね小動き。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入